令和５年度社会福祉法人橘風会事業報告

Ⅰ．総　括

１．　令和５年度の法人全体の収支は、新型コロナウイルスの影響を受け大幅に減少し前年度と比べ、収支差額が約 2,480 万円減少となり、厳しい結果となった。

ねむの丘においては、施設内クラスターの発生や人件費の増加、業務委託費の高騰などがあったことやコロナに関する補助金が 800 万円減少したことにより、収支差額は前年度対比 68.3%、金額ベースで約 1,980 万円の減少となった。

在宅部門においては、ショートステイでは施設内クラスターやショートから特養への入所が多数にあったことに伴い、定期利用者が減少し、収支差額は金額ベースで約 697 万円の減少となった。デイサービスでは新規利用者の確保に苦慮し、収支差額は前年度に比べ約 159 万円の減少となった。第二デイサービスでは昨年度収支差額がマイナスとなっていたが、利用者の増加や人件費等の削減により、前年度と比べ約 346 万円の増収となり、収支差額がプラスに転じた。ケアプランセンターでは新規確保件数は前年度とほぼ変わりはなかったが、ご利用者の入院や入所が多かったことや人件費が増加したことに伴い、収支差額は前年度に比べ約 333 万円の減少となった。ヘルパーステーションについては休止中となっていたが、人員体制が整わず休止期間の限度に達した為、3 月末をもって廃止となった。

２．　国の補助事業を利用した非常用発電機の設置を行い、災害に強い施設作りを進めた結果、渋川市より福祉避難所のモデル事業所に選定された。

３．　群馬県が、障害者雇用に積極的な事業所に対して「障害者雇用優良事業所」の表彰を行っており、その表彰の中で最高位である県知事賞を受賞した。

Ⅱ．改正事項

１．定款・規約・規程等の整備

１）定款

① 変更点なし

２）規約

① 社会福祉法人橘風会　就業規則の一部改正

３）規程

① 社会福祉法人橘風会　ユニット型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正
② 社会福祉法人橘風会　従来型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正
③ 社会福祉法人橘風会　指定短期入所介護事業運営規程の一部改正
④ 社会福祉法人橘風会　指定介護予防短期入所生活介護運営規程の一部改正
⑤ 社会福祉法人橘風会　通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正
⑥ 社会福祉法人橘風会　介護予防・日常生活支援総合事業における指定第

　１号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正
⑦ 社会福祉法人橘風会　通所介護事業所指定通所介護事業運営規程（第二デイサービス虹の家）の一部改正
⑧ 社会福祉法人橘風会　介護予防・日常生活支援総合事業における指定第１号通所事業（通所型サービス）運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正
⑨ 社会福祉法人橘風会　居宅介護支援事業所運営規程の一部改正
⑩ 社会福祉法人橘風会　準職員取扱要領の一部改正

Ⅲ. 組　織

１．役　員（令和６年３月末日現在）

理事長	内 田　章 義			
理　事	都 丸　宣 彦	丸 橋　正 幸	木 村　榮 一	
	村 尾　隆 史	高 山　啓 一（施設長）	（就任順）	
監　事	今 井　兼 則	都 丸　正 隆	（就任順）	
評議員	高 橋　睦 男	小 川　志 道	林　俊 男	宇 都 宮　京 子
	諸 田　了 子	森 田　俊 之	木 暮　美 恵 子	（就任順）

２．職　員

（１）橘風会　総数	１３６名	常　勤７１名（男３４名、女３７名）	
		非常勤６５名（男１０名、女５５名）	
（２）施設長	１名	常　勤　１名（男　１名）	
（３）総務部	１４名	常　勤　４名（男　２名、女　２名）	
		非常勤１０名（男　６名、女　４名）	
部長	１名	常　勤　１名（男　１名）	
総務係	３名	常　勤　３名（男　１名、女　２名）	
用務	２名	非常勤　２名（男　２名）	
管理当直	３名	非常勤　３名（男　３名）	
洗濯・清掃	５名	非常勤　５名（男　１名、女　４名）	
（４）施設支援部	７２名	常　勤４８名（男２４名、女２４名）	
		非常勤２４名（男　２名、女２２名）	
生活支援係	３名	常　勤　３名（うち、管理栄養士２名）	
介護支援専門員	１名	常　勤　１名（男　１名）	
第一介護係	３０名	常　勤１７名（男１１名、女　６名）	
		非常勤１３名（男　２名、女１１名）	
第二介護係	３８名	常　勤２７名（男１１名、女１６名）	
		非常勤１１名（男　０名、女１１名）	
（５）医務課	１４名	常　勤　６名（看護師２名、准看護師４名）	
		非常勤　８名（看護師１名、准看護師７名）	
医務係	１１名	常　勤　４名（看護師１名、准看護師３名）	
		非常勤　７名（看護師１名、准看護師６名）	
機能訓練指導員	３名	常　勤　２名（看護師１名、准看護師１名）	

非常勤　１名（准看護師１名）

（６）在宅支援部　３５名　常　勤１２名（男　６名、女　６名）
非常勤２３名（男　２名、女２１名）

課長　１名　常　勤　１名（地域包括管理者１名）
通所介護事業所　２５名　常　勤　５名（男　３名、女　２名）
非常勤２０名（男　１名、女１９名）
運転手　１名　非常勤　１名（男　１名）
居宅介護支援事業所　６名　常　勤　５名（男　２名、女　３名）
非常勤　１名（男　０名、女　１名）
地域包括支援センター　２名　常　勤　１名（男　０名、女　１名）
非常勤　１名（男　０名、女　１名）

Ⅳ．会　議

１．理　事　会

開催年月日	開　催　名	議　題　内　容
令和５年　５月２７日	第１回理事会	議案第　１号　令和４年度社会福祉法人橘風会事業報告並びに資金収支決算（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録）の認定について ［監査報告］ 議案第　２号　社会福祉法人橘風会　任期満了に伴う理事・監事の推薦について 議案第　３号　社会福祉法人橘風会　評議員候補者の推薦について 議案第　４号　社会福祉法人橘風会　評議員選任・解任委員会の開催について 議案第　５号　社会福祉法人橘風会　評議員会の開催について 報告事項 （１）令和４年度社会福祉充実残額について （２）業務執行状況の報告について
令和５年　６月２４日	第２回理事会	議案第　６号　社会福祉法人橘風会　理事長の選任について 議案第　７号　社会福祉法人橘風会　業務執行理事の選任ついて
令和６年　３月　９日	第３回理事会	議案第　８号　社会福祉法人橘風会　ユニット型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について 議案第　９号　社会福祉法人橘風会　従来型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について 議案第１０号　社会福祉法人橘風会　指定短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について 議案第１１号　社会福祉法人橘風会　指定介護予防短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について 議案第１２号　社会福祉法人橘風会　通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正について 議案第１３号　社会福祉法人橘風会　介護予防・日常生活支援総合事業における指定第１号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正について 議案第１４号　社会福祉法人橘風会　通所介護事業所指定通所介護事業運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正について 議案第１５号　社会福祉法人橘風会　介護予防・日常生活支援総合事業における指定第１号通所事業（通所型サービス）運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正について 議案第１６号　社会福祉法人橘風会　居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について 議案第１７号　社会福祉法人橘風会　指定訪問介護事業所、廃止に

		ついて 議案第１８号　社会福祉法人橘風会　現職理事の辞任に伴う、新理事の推薦について 議案第１９号　社会福祉法人橘風会　就業規則の一部改正について 議案第２０号　社会福祉法人橘風会　準職員取扱要領の一部改正について 議案第２１号　令和５年度社会福祉法人橘風会第一次資金収支補正予算について 議案第２２号　令和６年度社会福祉法人橘風会事業計画並びに資金収支予算について 議案第２３号　社会福祉法人橘風会　評議員会の開催について （報告事項） （１）　令和５年度、障害者雇用優良事業所（群馬県知事賞）受賞について （２）　業務執行状況の報告について

２．監　査　会

開催年月日	事　業　内　容
令和５年　５月　８日	令和５年度　監査会（令和４年度決算監事監査）
令和５年１１月２４日	令和５年度　上半期会計監査会

３．評議員会

開催年月日	開　催　名	議　題　内　容
令和５年　６月２４日	第１回評議員会	議案第　１号　令和４年度社会福祉法人橘風会事業報告並びに資金収支決算（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録）の認定について ［監査報告］ 議案第　２号　社会福祉法人橘風会　任期満了に伴う、理事・監事の選任について
令和６年　３月２３日	第２回評議員会	議案第　３号　社会福祉法人橘風会　指定訪問介護事業所、廃止について 議案第　４号　社会福祉法人橘風会　現職理事の辞任に伴う、新理事の選任について 議案第　５号　社会福祉法人橘風会　就業規則の一部改正について 議案第　６号　社会福祉法人橘風会　準職員取扱要領の一部改正について 議案第　７号　令和５年度社会福祉法人橘風会　第一次資金収支補正予算について 議案第　８号　令和６年度社会福祉法人橘風会　事業計画並びに資金収支予算について

４．評議員選任・解任委員会

開催年月日	開　催　名	議　題　内　容
令和５年６月２４日	第１回評議員選任・解任委員会	議案第　１号　社会福祉法人橘風会　評議員の解任について 議案第　２号　社会福祉法人橘風会　評議員の選任について

５．　その他

開催年月日	事　業　内　容
令和５年４月１４日	第１回入所検討委員会の開催
令和５年５月８日	苦情解決報告会
令和５年５月（書面）	第１回家族会総会（書面決議）　職員で苗の植え付け

令和５年９月１８日	第２回家族会　コロナウイルス感染拡大防止の観点から家族は招かず施設内でぁんみつ作り
令和５年１１月１６日	第２回入所検討委員会の開催
令和５年１２月１３日	第３回家族会　　家族会役員４名のご協力いただき、お餅つきを実施

Ⅴ．事業（目標）結果

１．総務部

＜目標＞

○　労働人口減少に伴う、人材不足が年々厳しさを増す中で、安定的な雇用確保の為、外国人労働者の継続採用及びハローワークと連携した雇用確保に努めます。

○　業務継続計画（ＢＣＰ）に基づき、国の補助事業を利用した補助電源設備の導入を行い、災害に強い施設作りを行っていきます。

○　介護機器のＩＣＴ化を進め、業務負担の軽減をはかり、働きやすい職場環境を形成していきます。

＜結果＞

○　インドネシアより２名の技能実習生を雇用し、外国人労働者が４名となりました。新たな雇用のスキームが確立され、人材不足の中でも安定した採用が行えました。

○　業務継続計画の義務化に伴う防災訓練及び非常用発電機を設置し、災害時に常時即応できる体制を確立しました。

○　ノートパソコンを増設し、記録等の事務作業時間を効率的に運用できるような環境を整えました。

法人共通研修

令和５年　５月１７日	諸規程・社会人としてのマナー・各処遇改善について
令和５年　６月２１日	食中毒とその予防について
令和５年　７月１９日	ガウンテクニックとコロナ発生時の対応について
令和５年　８月１６日	リスクマネジメント　報告書への記載について
令和５年　９月１３日	高齢者虐待、身体拘束におけるスピーチロックについて
令和５年１０月１８日	感染対策について
令和５年１１月３０日	転倒予防対策について
令和６年　１月３０日	ＫＹＴ動画によるリスクの気づきと対応策について
令和６年　２月　２日	人権擁護、高齢者虐待防止について
令和６年　２月２１日	褥瘡の理解とリスクアセスメント
令和６年　３月１９日	身体拘束防止について

２. 施設支援部

ねむの丘基本方針

○ 親孝行の視点で利用者の想いに寄り添うケアを提供します。

○ 『ねむの丘ケア方針』に基づいた愛情あるケアを提供します。

各部署の目標

①　生活相談員

＜目標＞

ご利用者、ご家族の想いと願いを汲み取り様式にまとめ、多職種協働によりご利用者本位のケアを実現し、人生を彩る支援を提供します。

○　ご利用者やご家族の意向について情報を収集して様式にまとめ、多職種で共有することでご利用者の意志を尊重した支援が実現できる。

○　季節感のあるイベントや地域に根差した行事に関連したイベントを企画して実施できる。日常の様子やイベントでの様子をご家族の来所時やブログ等を通して発信できる。

＜結果＞

○　入所時から情報収集を行い、様式にまとめることができた。

○　地域性や季節感のある行事を企画実施することができた。ご利用者の反応も良好で、楽しんでいただけた。また、面会時やブログを通して、日々の様子をご家族に共有できた。

②　介護支援専門員

＜目標＞

介護過程を理解することでケアプランの重要性を再認識しプランに沿った統一ケアを提供します。

○　ケアプランの作成方法をケアマネが中心となって職員に伝えケアプランの理解を深める事ができる。

○　ケアプランに沿ったケアができてプランに沿った記録ができる。

＜結果＞

○　ケアプランの作成方法について各リーダーに研修を行い、介護過程・ケアプラン作成方法を伝えることができた。

○　日々の記録に関してケアプランに沿った記録ができた。

③　管理栄養士

＜目標＞

摂食状況やニーズを把握し、個々の身体機能や嗜好に応じた食事を、真心をこめて提供することで、食の楽しみや喜びを感じていただけるよう支援します。

○　栄養状態や咀嚼嚥下機能の変化に気付き、予防や改善のための支援を検討し、実施できる。

○　生活の楽しみとなるような食事の提供や季節や地域性を通した行事が実施できる。

○　日々の食事をより良いものにするために課題を共有し、改善に向けた検討ができる。

＜結果＞

○　日々の摂取状況の把握に努め多職種で連携し、嚥下機能や栄養状態に合わせて提供する食事を検討することができた。

○　施設行事や季節を感じられるようなメニューを献立に取り入れる事ができた。

○　給食業者と課題を共有し、改善に向けて連携を図ることができた。

④　介護

第一介護係橘組

＜目標＞

認知症について理解を深め、ご利用者の笑顔に繋がる個別ケアを提供します。

○　要望を聞き取りケアに活かす事ができる。

○　個々の状態を把握し刺激ある生活を送る。

○　口腔ケアの重要性を周知し統一したケアを行う。
＜結果＞
○　ご利用者の要望や思いを聞き取り、食事のイベントをご利用者と一緒に行い、季節に応じた飾り付けができた。
○　日課としてラジオ体操、口腔体操を午前中に行い、その他にも全身を使った体操の手順書を作成し、実施する事ができた。
○　口腔ケアの重要性や方法について言語聴覚士から指導を受け、その内容を共有し口腔ケアの意識を高める事ができた。

第一介護係風組
＜目標＞
ご利用者の思いや願いを知り、実現する事で自己肯定感を感じられるケアを提供します。
○　情報シートの作成と活用、またレクリエーション活動を実施する事で安心できる環境と楽しみのある生活を支援する事ができる。
○　ご利用者一人ひとりの心に寄り添ったケアとなるために、接遇や認知症ケアについて理解を深めることができる。
＜結果＞
○　コミュニケーション情報シートを作成し、日々のコミュニケーションに活用する事ができた。また、午前中のラジオ体操、午後のレクリエーションを毎日実施したことで利用者の笑顔を引き出すことができた。
○　組の会議や日々の申し送りで接遇方法や個別の認知症ケアをチームで考え、実践できた。

第二介護係花組
＜目標＞
ご利用者について深く知り、チームで共有し関わることで個々に合った楽しみや生きがいのある生活を提供します。
○　ご利用者の事(性格、習慣、趣味、特技、生活歴等)を深く知り、共有できる。
○　楽しみや生きがいのある生活を提供できる。
＜結果＞
○　情報シートを作成し職員で共有しご利用者の知らない部分を知ることができた。
○　情報シートをもとに個別に楽しみや生きがいに繋がる事を提供することで、笑顔で過ごすことができる生活を提供できた。

第二介護係月組
＜目標＞
ご利用者一人ひとりの想いや願いを情報シートにまとめ多職種と共有し叶えていくことで笑顔に繋がる支援を提供します。
○　ご利用者一人ひとりの想いや願いを叶えることで新たな想いや願いが生まれ、笑顔で楽しい日々を提供することでご利用者、職員の意欲向上ができる。
○　叶えた想いや願いを実現したものを月組だよりに掲示できる。
＜結果＞
○　情報シートを通してご利用者の想いや願いを知りケアに活かしたことで笑顔に繋げることができ、職員の意欲向上もできた。
○　月組だよりを毎月作成しご家族に見て頂く事でご利用者の笑顔で過ごす様子を伝えることができた。

第二介護係宙組
＜目標＞
ご利用者の役割と笑顔になるキーワードをみつけ関わることで、自己肯定感を感じられるケアを提供します。
○　笑顔になるキーワードを見つけそのキーワードを用いて関わる事で笑顔ある日々を過ごし日々の生活の中での生きがいを見つけることができる。

○　ご利用者の役割を見つけその役割に対して感謝を伝える事でご利用者が自己肯定感を感じた日々を過ごすことができる。

＜結果＞

○　「心豊かなコミュニケーションツール」を作成し、本人が頑張ってきた事や好きな食べ物、また日々のコミュニケーションの中で役立ちそうなキーワードを見つけることができた。

○　「心豊かなコミュニケーションツール」を活用し、ご利用者それぞれの役割や生きがいに繋がる事を見つけ、取り組んでいただいた際には感謝を伝えることができた。

第二介護係星組

＜目標＞

ご利用者の願いや希望をご家族と共有し笑顔に繋がる支援を提供します。

○　日々の生活の中で個々の願いを把握し、レクリエーションや行事に反映して楽しみのある生活を提供することができる。

○　24 時間シートを活用して生活リズムを把握し、統一したケアを行うことができる。

＜結果＞

○　ご利用者の希望を聞きながら日々、レクリエーション等を行い、笑顔を引き出す関わりが持てた。また季節のイベントとして夏は野菜の水やりと収穫、冬は文化祭の作品制作など役割を持ちながら楽しむことができた。

○　24 時間シートを活用しご利用者の願いや生活リズムを把握し職員間で共有することで統一したケアを行うことができた。

第二介護係楓組

＜目標＞

ご利用者との関りを通して思いや願いを想像し、笑顔となれる関りを創造し支援します。

○　利用者が楽しみを感じて笑顔で生活することができる。

○　写真やブログを活用することで利用者、家族、職員の繋がりを深める事ができる。

＜結果＞

○　ご利用者の思いや楽しみについて聞き取り、一人ひとりが楽しめるレクリエーションや行事を行うことで笑顔を引き出すことができた。

○　日ごろからご利用者の様子を写真に残し、ご家族の面会時に見て頂き、日頃の様子を伝える事でご家族の安心に繋がった。

第二介護係桜組

＜目標＞

ご利用者とご家族の「想い・意志」を個別ケアシートにまとめ、関わることで喜びに満ちた生活を支援します。

○　ご利用者・ご家族と関わる機会を増やし希望や想いを知ることで、ケアの改善に繋げる。

○　個別ケアシートを使用し、利用者の生きる喜びに繋がることを見つけ実施する。

＜結果＞

○　ご利用者に積極的に関わりながら日頃から楽しめる事や、やりたい事を聞き取った。また、面会時にご家族の要望や想いを聞き取り、ケアに反映することでケアの改善に繋げることができた。

○　個別シートを活用して本人の希望をケアに取り入れることで、喜び・笑顔が引き出せる関わりや行事を実施することができた。

⑤　短期入所生活介護

＜目標＞

レクリエーションやリハビリの充実を図り活動的に過ごすことができる支援を提供します。

○　ショートステイ利用中にご利用者が楽しめること・身体を動かし活動が向上する取り組みを実践する。

○　ご利用者が居心地よく過ごせるように、接遇・言葉遣いについて理解を深め、相手の立

場に立ったケアが実践できる。
- ○ 新規利用開始時、短期入所サービス計画書を迅速に作成することで統一したケアが提供できる。

<結果>
- ○ 午前中のラジオ体操・口腔体操、午後のレクリエーションを行い、ご利用者の活動の向上ができた。
- ○ 会議や申し送りの際に、言葉遣いについて職員で考える機会を持ち、ご利用者の立場に立った言葉がけができるように促すことができた。
- ○ 短期入所サービス計画書を迅速に作成することができ、統一したケアの提供に繋げることができた。

２.医務課基本方針

本人・家族の代弁者となり自己決定の支援を提供します。

⑥ 医務係

<目標>

ご利用者・ご家族の思いを知り、全身状態に合わせた支援を多職種と連携し提供する事で充実した人生と感じられる支援を提供します。
- ○ 利用者それぞれに合わせた全身状態の把握ができる。
- ○ 利用者・家族・職員間でコミュニケーションを図り情報を共有する事で、利用者、家族が望む医療やケアにつなげることができる。

<結果>
- ○ 日々、多職種と連携し状態把握をすることでタイムリーにケアの見直しを行うことができ、状態変化に合わせたケアを提供することができた。
- ○ 受診時やケース会議、カンファレンス等でご家族と情報共有する中でご利用者・ご家族の思いを知りケアにつなげることができた。

機能訓練

<目標>

日々の生活に喜びや幸せが感じられるように、多職種と連携し生活機能の維持向上が図れる様に訓練を行います。
- ○ 入所時アセスメントシートを活用しコミュニケーションを図りご利用者の思いを知る。
- ○ 多職種で連携しご利用者のニーズ・ＡＤＬを把握し計画を立案できる。

<結果>
- ○ アセスメントシートでご利用者の生活歴や想いを知ることで、ご利用者の気持ちを尊重した対応ができた。
- ○ 多職種と情報を共有して多角的な視点から計画を立てる事ができた。

⑦ 各委員会

リスクマネジメント委員会

<目標>

リスクへの気づきの意識を高め、統一したケアを行うことで事故防止に努めます。
- ○ KYT（危険予知訓練）を通してリスクへの気づきと対応策、回避能力の向上を図ることができる。
- ○ 事故報告書や出来事報告書を職員全員が理解し、速やかに作成する事で適切な改善策を講じることができ、類似した事故防止に努めることができる。

<結果>
- ○ KYT 動画を通して日常生活に潜むリスクへの気づきの意識を高めることができた。
- ○ 発生事故については早急にチームで検証を行ったうえで報告書を作成し、施設全体で共有することで類似した事故を防止できる様に努めることができた。

資質向上委員会
＜目標＞
理念及び基本方針を共有し、職員がやりがい・向上心を持ってケアにあたり、質の向上や業務の改善ができる。
- ○　ケア方針研修の内容や目的をメンバーが理解したうえで研修を実施し、知識・技術の向上ができる。
- ○　チームで年間の目標を定め、その目標に向かって日々、ケアをしていく事で職員のやりがいに繋がる。
- ○　ターミナルケア指針に沿ったケアができて施設全体に周知ができる。
- ○　業務改善を行い、職員の労働環境を整える。

＜結果＞
- ○　研修の内容や目的を理解して伝えることで知識・技術の向上に繋がり、現場に持ち帰る事でケアの質の向上に繋げることができた。
- ○　目標に対して各組の進捗状況を定期的に委員会で確認し情報共有を行い、年度末には活動報告会を実施し全体で振り返ることで次年度に向けてのモチベーションアップに繋げることができた。
- ○　看取りの指針について委員会で見直しを行い、情報共有を行った。また施設で看取りを行ったご家族に対して忍びのアンケートを行い、委員会で振り返ることで全体のターミナルケアに対しての理解を深める事ができた。
- ○　業務の見直しを定期的に行い、業務改善を実施したことで業務が効率化できた。

食事改善・食中毒対策委員会
＜目標＞
アセスメントシートを活用しご利用者の咀嚼嚥下機能を評価するとともに、口腔衛生の向上に努め口から食べる楽しみと喜びの継続を支援します。
- ○　多職種により、利用者の摂食嚥下機能を適切に評価し、安全に口から食べるための支援ができる。
- ○　口腔衛生について知識を深め、重要性を理解し、日々のケアで実施することで、施設全体として口腔衛生環境の維持・向上へつなげることができる。
- ○　食中毒や感染症予防について、食事改善委員会を通じて知識を深める事ができる。

＜結果＞
- ○　歯科衛生士、言語聴覚士の関わりで知識や意識が高まり、安全に配慮した食事が支援できた。また、摂食嚥下機能を評価し、本人に合わせた食事内容を検討し、安全に口から食べるための支援ができた。
- ○　歯科衛生士、言語聴覚士からの指導や助言を受けることで、施設全体の口腔衛生環境の維持・向上へ繋げることができた。
- ○　施設内研修を実施し、食中毒や感染症予防についての知識を深め、実際のケア場面での留意点について周知することができた。

感染症対策委員会
＜目標＞
感染予防策、感染症発生時の対応策をまとめ周知徹底を図り、誰もが適切な感染予防行動がとれ感染拡大を防ぐことができる。
- ○　感染源、感染経路について理解を深めるためにマニュアルの整備ができる。
- ○　感染症対応を全職員が理解し実施できる。

＜結果＞
- ○　新型コロナウィルス感染症やインフルエンザのマニュアルを状況変化に応じて見直しを行い、整備することができた。
- ○　感染症発生時の初期対応のシミュレーションを実施することで、全職員が理解するためには定期的にシミュレーションを実施する必要性があることが確認できた。

排泄委員会
＜目標＞
多職種連携で、個別に合った排泄物品の選定や排便コントロールを実施し、心地よく生活出来るよう支援します。
○　排泄物品を適切な方法で使用でき、個々に合った排泄ケアができる。
○　腸内環境のメカニズムを理解し不要な下剤を減らす事ができる。
＜結果＞
○　尿量測定を実施し、一人ひとりの適切なタイミングで適切な排泄物品を使用することで、排泄物品の使用量を削減することができた。
○　便秘に対してアセスメントを行うことで便秘改善と自然排便の促しに繋がり、下剤使用を減らすことができた。

身体拘束委員会
＜目標＞
利用者本位のケアを実現する為に、拘束や抑圧を予防しその人らしい日常生活を支援します。
○　不適切なケアを行わない為の関わりができる。
○　研修を通じて身体拘束に関する総合的な周知ができる。
＜結果＞
○　言葉による抑制（スピーチロック）など不適切なケアに対する改善策を検討し、施設全体に周知徹底したことでケアの改善に繋げることができた。
○　全体研修を通して、身体拘束の種類や対策方法について説明し周知できた。

虐待防止委員会
＜目標＞
虐待：高齢者の人権擁護への理解を深め、ご利用者の尊厳保持と利用者本位の支援を提供します。
○　「虐待の防止のための指針」について、全職員が内容を確認することで周知ができる。
○　高齢者の人権擁護について、全体研修を行い現場スタッフへの周知ができる。
○　不適切なケアとなりえるケア場面を対象として、チームで対応方法を検討することでケアの改善と評価ができる。
＜結果＞
○　「虐待の防止のための指針」について、内容の確認と職員への周知ができた。
○　全体研修を行い、ケア場面での人権擁護に関する周知ができた。
○　各組毎に不適切なケアとなりえるケア場面を対象として、チームで対応方法を検討しケアの改善に向けた取り組みと評価を行うことができた。

褥瘡委員会
＜目標＞
褥瘡について理解を深め適切な物品の利用と管理を行いご利用者ごとに適切なケアを行うことで褥瘡を予防するケアを提供します。
○　物品の管理、使用方法が適切にでき、予防物品を過信せずに対応し褥瘡の予防ができる。
○　多職種で連携し褥瘡について理解し、利用者ごとに褥瘡の予防の手立てができる。
＜結果＞
○　予防物品の適切な使用方法を統一することで、褥瘡を予防することができた。
○　多職種と連携し、利用者毎に適切な褥瘡予防が実施できているか確認し、評価ができた。

広報委員会
＜目標＞
広報誌、ブログ、ホームページを通して、福祉関係者及び学生等にも当法人を知っていただけるよう、広い範囲での発信を行います。
○　定期的な広報誌の発行・ホームページの更新・ブログの掲載を通して、ご利用者の日常生活・行事等の様子やそこで働いている職員の様子を多くの人に知っていただく。
○　就職説明会に積極的に参加し、学生や求職中の方にねむの丘をＰＲし、人材の確保に繋げる。
＜結果＞
○　定期的な広報誌の発行・ホームページの更新・ブログの掲載を実施し、ご利用者や職員の明るい雰囲気を紹介することができた
○　就職説明会へ５回参加し、ねむの丘をＰＲすることができ、人材の確保に繋がった。

入退所状況

【従来型】

	1日現在在所者数	退所者数	退所理由	新規入所者数	新規平均介護度	新規平均年齢	備考
4月	38 人			2 人	介護 4.5	88 歳	在宅×２
5月	40 人						
6月	40 人	1 人	看取り×１				
7月	39 人	1 人	長期入院×１	2 人	介護４	90 歳	老健×２
8月	40 人						
9月	40 人						
10月	40 人	3 人	長期入院×1 死亡(病院)×1 看取り×1				
11月	37 人	1 人	看取り×1	3 人	介護 5	84.7 歳	在宅×1 病院×1 有料ホーム×1
12月	39 人			1 人	介護 5	70 歳	有料ホーム×1
1月	40 人						
2月	40 人						
3月	40 人						
合計		6 人	看取り×3 死亡(病院)×1 長期入院×2	8 人	介護 4.6	83 歳	在宅×3 病院×1 老健×2 有料ホーム×2

※　退所者：令和 3 年 7 名(看取り 4 名)　令和 4 年 14 名(看取り 7 名)　令和 5 年 6 名(看取り 3 名)

※　入所者：令和 3 年 7 名(平均介護度 4.2・年齢 90 歳)　令和 4 年 13 名(平均介護度 4.2・年齢 89 歳)　令和 5 年 8 名(平均介護度 4.6・年齢 83 歳)

【ユニット型】

	1日現在在所者数	退所者数	退所理由	新規入所者数	新規平均介護度	新規平均年齢	備考
4月	58 人	1 人	看取り×１	3 人	介護 4.3	79.3 歳	在宅×1 老健×1 有料ホーム×１
5月	60 人						
6月	60 人	5 人	看取り×3 死亡(病院)×１ 転所×1	4 人	介護 4.3	93 歳	在宅×3 老健×1
7月	59 人	5 人	看取り×1 死亡(病院)×2 長期入院×2	2 人	介護 4	89 歳	在宅×2
8月	56 人			1 人	介護 4	84 歳	在宅×1
9月	57 人	1 人	看取り×1	4 人	介護 4	89.8 歳	在宅×3 病院×１
10月	60 人	1 人	看取り×1				
11月	59 人	3 人	看取り×2 転所×1				
12月	57 人	1 人	看取り×1	3 人	介護 4.3	88.3 歳	在宅×2 病院×1
1月	58 人	3 人	看取り×2 長期入院×1	3 人	介護 4.3	86 歳	在宅×1 病院×1 有料ホーム×1
2月	58 人	2 人	看取り×1 長期入院×1	3 人	介護 4.7	89 歳	在宅×1 有料ホーム×2
3月	60 人	1 人	看取り×１	2 人	介護 4.5	83 歳	在宅×1 有料ホーム×1
合計		23 人	看取り×14 死亡(病院)×3 長期入院×4 転所×2	25 人	介護 4.3	89 歳	在宅×15 老健×2 病院×3 有料ホーム×5

※　退所者：令和 3 年 19 名(看取り 10 名)令和 4 年 12 名(看取り 5 名)令和 5 年 23 名(看取り 14 名)

※　入所者：令和 3 年 19 名(平均介護度 4.1・年齢 88.1 歳)　令和 4 年 13 名(平均介護度 3.9・年齢 87 歳)令和 5 年 25 名(平均介護度 4.3・年齢 89 歳)

※　新規入所者の傾向として前年度と比較し、在宅 10 名→15 名、有料老人ホーム 1→5 名と増加している。

○　入所者の状況

【従来型】

要介護度	性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均介護度	男	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.0	4.0	4.0	4.2
	女	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.3
平均介護度		4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2

※　平均介護度：令和元年度 4.4、令和 2 年度 4.3、令和 3 年度 4.3、令和 4 年度 4.3、令和 5 年度 4.3。

【ユニット】

要介護度	性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均介護度	男	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.2	4.3	4.3
	女	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.2	4.2	4.1
平均介護度		4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2

※　平均介護度：令和元年度 3.9、令和 2 年度 4.3、令和 3 年度 4.1、令和 4 年度 4.1、令和 5 年度 4.2。

○　入院者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	延べ
既存入院者	43 人	99 人	67 人	42 人	34 人	44 人	70 人	68 人	90 人	33 人	45 人	55 人	58 人/月	690 人
ユニット入院者	29 人	56 人	52 人	34 人	24 人	11 人	51 人	81 人	88 人	93 人	83 人	32 人	53 人/月	634 人
入院者数	72 人	155 人	119 人	76 人	58 人	55 人	121 人	149 人	178 人	126 人	128 人	87 人	110 人/月	1324 人
一日平均	2.40 人/日	5.00 人/日	3.97 人/日	2.45 人/日	1.87 人/日	1.83 人/日	3.90 人/日	4.96 人/日	5.74 人/日	4.06 人/日	4.41 人/日	2.81 人/日	3.6 人/日	
既存入所待ち空床	19 人	0 人	7 人	25 人	0 人	0 人	47 人	34 人	20 人	0 人	0 人	0 人	13 人/月	152 人
ユニット入所待ち空床	35 人	0 人	49 人	72 人	94 人	41 人	4 人	59 人	76 人	71 人	28 人	9 人	45 人/月	538 人
空床合計	126 人	155 人	175 人	173 人	152 人	96 人	172 人	242 人	274 人	197 人	156 人	96 人	167.8 人/月	690 人
一日平均	4.20 人/日	5.00 人/日	5.83 人/日	5.58 人/日	4.90 人/日	3.20 人/日	5.54 人/日	8.06 人/日	8.83 人/日	6.35 人/日	5.38 人/日	3.09 人/日	5.5 人/日	

※　一日平均入院者 3.7 人→3.6 人とほぼ変わらず。
※　既存入所待ち空床月平均 41 人から 13 人へと減少。
※　ユニット型入所待ち空床は 6 月、7 月、8 月および 11 月、12 月、1 月に多くなり、月平均 24 人から 45 人へと増加した。

○　稼働状況（ショートを含めた稼働率）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
既存稼働率	94.1%	95.7%	90.5%	94.1%	96.3%	92.9%	87.4%	86.8%	92.5%	96.1%	97.4%	97.8%	93.5%
ユニット稼働率	96.6%	96.9%	94.9%	95.7%	96.3%	98.2%	97.0%	92.6%	91.5%	91.7%	94.6%	97.8%	95.3%
平均稼働率	95.4%	96.3%	92.7%	94.9%	96.3%	95.6%	92.2%	89.7%	92.0%	93.9%	96.0%	97.8%	94.4%

※　6 月、7 月におけるユニット型からの退所者が多く、新規入所にあたり短期入所者から入所する方が増加した。また、9 月に従来型にて新型コロナウィルス感染症が発生したために、短期入所者の受け入れ制限が行われ、9 月以降の稼働率低下につながった。

○　ショート利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	33 人	35 人	32 人	35 人	35 人	31 人	32 人	34 人	38 人	34 人	36 人	36 人	471 人
延べ日数	558 人	622 人	512 人	603 人	636 人	536 人	502 人	470 人	603 人	590 人	596 人	635 人	6,835 人
一日平均	18.0 人	20.0 人	17.0 人	19.4 人	20.5 人	17.8 人	16.1 人	15.6 人	19.4 人	19.0 人	19.2 人	20.4 人	18.5 人

※　入所待機者の減少に伴い、短期入所利用者から入所する方が増え短期利用者が減少。また 10 月～11 月は短期利用者の入院や他施設入所も重なり、利用者数の減少が見られた。12 月ころから利用者数は安定したが年間用者数は 19.4→18.5 に減少。

３．在宅支援部

（1）デイサービスセンター虹の家

＜目標＞

・ご利用者の要望に耳を傾け、ご利用者がご利用者らしく住み慣れた地域で生活が送れるよう、機能訓練や認知症予防、余暇活動を通じて心身機能の維持・向上に努めます。

・職員教育として研修機会を充実させ、職員の知識・技術の研鑽に努め資質向上に繋げ、ご利用者の満足度の充足を図ります。

＜結果＞

・機能訓練や認知症予防を通して、ご利用者が可能な限り在宅生活が継続出来た。余暇活動としては軽スポーツ大会を開催する等、今年度より身体を活用する行事などの新たな取り組みを行い、ご利用者にとって新しい環境・内容で楽しめた。ご利用者からも満足度の高い声を頂いている。

・職員研修として時代に即した Zoom を使用してのオンライン動画視聴研修を取り入れ、少ない時間で多数の職員の参加が行えた。また、令和 6 年度から義務化される研修に加え、設置義務のある委員会活動の設置、運営も研修同様滞りなく行えた。

（2）第二デイサービスセンター虹の家

＜目標＞

・ご利用者が自立した生活を送る為ニーズに応じた機能訓練の実施や余暇活動による社会参加の場を提供し、住み慣れた地域での継続した暮らしを支援します。

・職員教育として研修機会を充実させ、職員の知識・技術の研鑽に努め資質向上に繋げ、ご利用者の満足度の充足を図ります。

＜結果＞

・新型コロナウィルス感染症の5類への移行に伴い、感染症対策を継続した上で機能訓練や行事の実施において新たな取り組みや備品を導入したことで、利用者の満足度向上に寄与した結果、前年を上回る新規利用者紹介を得られることが出来た。

・職員研修の取り組みとして新たに動画配信研修方式を導入したことにより、感染症のリスクを軽減しつつ、個別学習の機会の増加が図れたことにより職員の資質・サービス向上に繋がる結果となった。

実施状況報告書(5年度)　デイサービスセンター虹の家

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	26	26	26	21	27	26	152	26	25	23	24	24	27	149	301	25
要支援1	14	16	18	11	16	15	90	18	19	20	16	16	25	114	204	17
要支援2	96	84	73	59	52	57	421	56	59	34	33	34	44	260	681	57
要支援延利用人員	110	100	91	70	68	72	511	74	78	54	49	50	69	374	885	74
要支援一日平均	4.2	3.8	3.5	3.3	2.5	2.8	3.4	2.8	3.1	2.3	2.0	2.1	2.6	2.5	2.9	2.9
介護度1	299	305	340	249	245	256	1694	259	273	239	271	294	337	1673	3367	281
介護度2	122	149	156	134	186	179	926	148	137	117	98	109	130	739	1665	139
介護度3	63	60	62	34	26	22	267	44	42	40	40	27	20	213	480	40
介護度4	81	54	39	29	39	39	281	25	29	12	10	9	14	99	380	32
介護度5	0	0	0	0	0	0	0	29	21	28	19	18	30	145	145	12
要介護延利用人員	565	568	597	446	496	496	3168	505	502	436	438	457	531	2869	6037	503.1
要介護一日平均	21.7	21.8	23.0	21.2	18.4	19.1	20.8	19.4	20.1	19.0	18.3	19.0	19.7	19.3		20.056
延利用人員数	675	668	688	516	564	568	3,679	579	580	490	487	507	600	3,243	6,922	1,384
一日平均	26.0	25.7	26.5	24.6	20.9	21.8	24.2	22.3	23.2	21.3	20.3	21.1	22.2	21.8		23.0

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	25	27	26	26	27	26	157	26	26	26	24	25	26	153	310	26
要支援1	15	13	13	7	13	17	78	20	21	20	27	24	21	133	211	18
要支援2	48	50	48	54	54	65	319	77	82	77	71	63	76	446	765	64
要支援延利用人員	63	63	61	61	67	82	397	97	103	97	98	87	97	579	976	81
要支援一日平均	2.5	2.3	2.3	2.3	2.5	3.2	2.5	3.7	4.0	3.7	4.1	3.5	3.7	3.8	3.1	3.1
介護度1	302	278	248	242	300	286	1656	249	247	246	228	243	261	1474	3130	261
介護度2	131	127	151	153	160	155	877	162	161	154	128	135	139	879	1756	146
介護度3	25	37	30	43	42	39	216	27	29	41	42	33	31	203	419	35
介護度4	19	18	16	12	0	4	69	11	13	15	21	22	22	104	173	14
介護度5	25	23	25	26	21	15	135	32	30	32	24	27	13	158	293	24
要介護延利用人員	502	483	470	476	523	499	2953	481	480	488	443	460	466	2818	5771	480.9
要介護一日平均	20.1	17.9	18.1	18.3	19.4	19.2	18.8	18.5	18.5	18.8	18.5	18.4	17.9	18.4		18.6
延利用人員数	565	546	531	537	590	581	3,350	578	583	585	541	547	563	3,397	6,747	1,349
一日平均	22.6	20.2	20.4	20.7	21.9	22.3	21.3	22.2	22.4	22.5	22.5	21.9	21.7	22.2		21.8

実施状況報告書（5年度） 第二デイサービスセンター虹の家

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	26	26	26	26	27	26	157	26	26	26	24	24	27	153	310	26
要支援1	13	17	14	13	14	12	83	12	14	6	8	8	10	58	141	12
要支援2	33	34	43	38	44	37	229	44	40	39	35	39	48	245	474	40
要支援延利用人員	46	51	57	51	58	49	312	56	54	45	43	47	58	303	615	51
要支援一日平均	1.8	2.0	2.2	2.0	2.1	1.9	2.0	2.2	2.1	1.7	1.8	2.0	2.1	2.0	2.0	2.0
介護度1	170	185	178	175	170	193	1071	190	185	155	156	182	197	1065	2136	178
介護度2	123	122	114	100	106	122	687	133	125	117	108	78	106	667	1354	113
介護度3	76	75	90	67	68	56	432	42	41	35	32	32	53	235	667	56
介護度4	49	45	24	13	13	13	157	13	13	13	11	12	18	80	237	20
介護度5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護延利用人員	418	427	406	355	357	384	2347	378	364	320	307	304	374	2047	4394	366.2
要介護一日平均	16.1	16.4	15.6	13.7	13.2	14.8	14.9	14.5	14.0	12.3	12.8	12.7	13.9	13.4		14.2
延利用人員数	464	478	463	406	415	433	2,659	434	418	365	350	351	432	2,350	5,009	1,002
一日平均	17.8	18.4	17.8	15.6	15.4	16.7	16.9	16.7	16.1	14.0	14.6	14.6	16.0	15.4		16.2
令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	25	27	26	26	27	26	157	26	26	26	24	25	26	153	310	26
要支援1	8	9	8	4	5	8	42	12	9	8	6	7	14	56	98	8
要支援2	55	73	73	83	82	67	433	61	63	63	51	59	62	359	792	66
要支援延利用人員	63	82	81	87	87	75	475	73	72	71	57	66	76	415	890	74
要支援一日平均	2.5	3.0	3.1	3.3	3.2	2.9	3.0	2.8	2.8	2.7	2.4	2.6	2.9	2.7	2.9	2.9
介護度1	173	192	172	155	175	183	1050	176	179	175	190	217	223	1160	2210	184
介護度2	104	108	113	126	130	141	722	164	146	121	108	105	108	752	1474	123
介護度3	63	61	53	59	46	44	326	42	62	57	46	30	19	256	582	49
介護度4	26	27	22	14	14	13	116	13	13	13	12	13	13	77	193	16
介護度5	0	0	0	0	0	0	0	8	10	4	0	0	0	22	22	2
要介護延利用人員	366	388	360	354	365	381	2214	403	410	370	356	365	363	2267	4481	373.4
要介護一日平均	14.6	14.4	13.8	13.6	13.5	14.7	14.1	15.5	15.8	14.2	14.8	14.6	14.0	14.8		14.5
延利用人員数	429	470	441	441	452	456	2,689	476	482	441	413	431	439	2,682	5,371	1,074
一日平均	17.2	17.4	17.0	17.0	16.7	17.5	17.1	18.3	18.5	17.0	17.2	17.2	16.9	17.5		17.3

（３）ケアプランセンターねむの丘

＜目標＞

一度しかない人生を、ご本人・ご家族が後悔なく送れるように自らの専門性を磨き、精一杯お手伝いさせていただく。

＜結果＞

- ご利用者の希望、心身の状況、生活環境、ご家族の支援状況等を把握するように努め、ご利用者一人ひとりが望む生活を実現できるように支援を行うことができた。
- ご利用者、ご家族より相談を受けた際には迅速に対応を行うことで信頼関係を構築することができた。
- 各サービス事業所の担当者と連携し、ご利用者、ご家族の支援を行うことができた。
- ご利用者の入院時には病院へ情報提供を行い、退院時にはなるべく病院にうかがうように務め、主治医、看護師等、病院関係者と連携を行いご利用者、ご家族が安心して在宅生活を過ごせるように退院支援を行うことができた。
- 新型コロナウィルス感染症の予防に努め、安全に事業を継続することができた。

主な活動内容

① サービス計画書の作成

② 自宅訪問による相談

③ サービス担当者会議の開催
(介護保険証の更新時又はサービス内容の変更時)

④ モニタリング（評価）

⑤ 各居宅サービス事業所、行政機関、主治医（医療機関）との連携

⑥ 各種申請の代行手続き
・介護保険要介護申請代行

⑦ 自己研鑽（事業所内研修毎週 1 回、外部研修）

⑧ 他法人共同事例検討会の開催（7 月、12 月に開催）

⑨ 書類の整備

令和 5 年度	給付管理票提出数	1,499 件	（介護給付）
		436 件	（予防給付）
令和 4 年度	給付管理票提出数	1,540 件	（介護給付）
		409 件	（予防給付）

令和5年度　ケアプランセンターねむの丘　要介護度別担当者数

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均	比率
要介護1	52	53	55	60	59	59	60	63	70	64	67	66	728	61	47%
要介護２	30	31	30	28	31	30	33	36	32	30	31	34	376	31	24%
要介護３	18	17	17	18	15	14	13	13	12	11	11	12	171	14	11%
要介護４	18	19	15	15	17	17	18	15	16	16	13	14	193	16	13%
要介護５	6	5	5	3	5	6	8	7	7	6	7	7	72	6	5%
要介護累計	124	125	122	124	127	126	132	134	137	127	129	133	1,540	128	
要支援１	14	14	14	14	14	12	13	13	13	12	13	12	158	13	39%
要支援２	21	21	22	21	20	22	20	21	20	16	18	19	241	20	59%
総合事業対象者	3	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	2%
要支援及び総合事業対象者累計	38	38	38	37	34	34	33	34	33	28	31	31	409	34	
令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均	比率
要介護1	62	63	59	58	59	58	54	54	50	53	52	52	674	56	45%
要介護２	33	33	34	34	36	36	36	33	35	31	30	27	398	33	27%
要介護３	13	15	14	14	13	14	14	16	16	16	17	17	179	30	12%
要介護４	16	16	15	11	11	10	11	14	13	15	14	11	157	13	10%
要介護５	8	6	6	7	7	6	8	7	7	8	11	10	91	8	6%
要介護累計	132	133	128	124	126	124	123	124	121	123	124	117	1,499	125	
要支援１	12	11	10	10	10	12	14	16	17	17	18	18	165	14	38%
要支援２	23	22	21	20	22	21	20	21	22	20	19	20	251	21	58%
総合事業対象者	0	0	0	1	2	2	2	3	2	2	3	3	20	2	5%
要支援及び総合事業対象者累計	35	33	31	31	34	35	36	40	41	39	40	41	436	36	

（４） 渋川市北橘地域包括支援センター

＜目標＞

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、高齢者本人や家族、地域住民などから受けた相談を把握し、関係機関と連携して解決に努め、地域の高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点としての機能強化を目指します。

＜結果＞

（1） 総合支援事業

総合相談の６割が介護・介護保険に関する事で、介護認定の申請から関わるケースが多くみられた。実態把握訪問に関しては高齢者の困りごとに対して、タクシー券の代行申請、配食サービス等を紹介し、自立支援に向けた情報を提供することができた。また、民生委員との連携では介護保険サービス利用に繋げることや、認知症の方に対して認知症高齢者捜索支援登録をすることでご本人、ご家族が安心して在宅生活が継続できるよう支援することができた。

（2） 権利擁護事業

困難事例や虐待事例があり警察や関係機関と連携することがあった。高齢者の方が安心して生活できるよう、様々な権利を守り、成年後見制度、日常生活自立支援事業の活用、虐待被害の対応、防止、早期発見に努めることができた。

（3） 包括的・継続的ケアマネジメント事業

病院からの情報提供から介護保険申請、住宅改修、日常生活自立支援事業の説明をすることがあった。関係機関と緊密な連携を図ることで圏域内の高齢者の課題解決や調整を包括的、継続的に行うことができた。

（4） 介護予防ケアマネジメント事業

利用者本人からサービス利用の相談があり、自己選択、自己決定を促し、適切なマネジメント業務を行い、身体状況の悪化を防ぎ、自立した生活が継続できるように介護予防を目的とした支援を行うことができた。

令和５年度　渋川市北橘地域包括支援センター事業実施報告書

区分			当年度累計
開所日数			259日
基本情報作成数			27
相談実績			3,929
相談方法	電話（延べ）		2,476
	来所（延べ）		362
	訪問（延べ）		969
	その他（延べ）		122
相談内容が主に認知症に係る件数（延べ）		６５歳以上	18
		６５歳未満	0
実態把握（一人暮らし高齢者）			204
権利擁護に関する相談件数			334
相談方法	成年後見（延べ）		6
	措置の支援（延べ）		0
	地域福祉権利擁護（延べ）		0
	高齢者虐待（延べ）		326
	消費者被害（延べ）		5
ケアマネジメント支援（プランチェック含）			147
介護予防支援		委託	436
		包括	111
介護予防ケアマネジメント		委託	521
		包括	45
国保連請求数			843
国保連請求数（返戻・修正・過誤）			3
基本チェックリスト（総合事業）			6
管理者会議（全体会議）			12
社会福祉士定例会			11
保健師定例会			3
主任ケアマネ定例会			12
民生委員連絡会議			10
生活支援体制整備事業（協議体）			9
家族介護教室・介護予防教室（主催）			2
各地域サロン			4
地域ケア会議（個別）・コア会議			5
困難事例勉強会			3
CM研修会			1
外部研修会			10
認知症施策（サポーター養成講座・見守りあんしん・学びの講座）			4